

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (東海)		美容室（経営者）	・これから行楽シーズンになり、正月にパーマや毛染めした客がそろそろ来店するため良くなる。
		一般小売店〔高級精肉〕 （常勤監査役）	・北朝鮮との会談や通商交渉など米国の方向性が、我が国にとって良い方向に向きつつある。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・高速道路の渋滞続きの区間が3月中旬の別ルート開通により緩和されたり、改元による5月の10連休等の話題が明るさをもたらしている。
		百貨店（総務担当）	・暖かい春を迎えるようであり、来年の春は増税後になるため、そろそろ消費税引上げ前の駆け込みを意識した高額品や春物商材の動きが活発になるものと想定され、売上増に寄与するものと見込んでいる。
		百貨店（企画担当）	・2月後半から気温が高く春物の動きが良かったことに加え、1月以降伸び悩んでいたインバウンド客の購買額が伸びたり高額品が顕著に動いたり、景気が上向きに感じられる。改元など景気にプラスに働く要因もあり、10月の消費税引上げまでは、景気は良い方向に動くと思われる。
		百貨店（販売促進担当）	・春夏ファッションでは、消費税の引上げ前の駆け込み需要を期待している。
		百貨店（業績管理担当）	・皇太子殿下の御即位に関するお祝いムード、祝日増が消費マインドを高める。
		スーパー（経営者）	・新年度を迎え、参拝客の増加に期待している。
		スーパー（総務担当）	・客にアピールしていく新商品を中心に、より季節に合った商品を全社的に開発する。
		スーパー（支店長）	・季節も良くなり人が動く時期になるので、多少の消費拡大に期待する。消費税引上げの声も少しずつ聞こえてくることで、駆け込みも少々期待したいところである。
		コンビニ（エリア担当）	・ゴールデンウィークの10連休での行楽需要や、改元に伴う経済の活性化が少しありそうな気がする。
		コンビニ（本部管理担当）	・今後は消費税引上げ前の駆け込み需要が予想され、当社も大きなイベントを検討し売上向上策をリリース予定である。10月までは過度に売上や利益が目減りすることはないと判断する。
		家電量販店（店員）	・テレビの買換えの下見客が多い。4Kテレビに買換えたいという欲求が高まってきているように感じる。
		乗用車販売店（販売担当）	・当社の主力車種がフルモデルチェンジし、3月初めにデビューする。値引きは厳しいが、来客数が増えることにより販売数が増えていくと思われる。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型軽自動車が発売されるので、4月以降の受注も期待できる。ただし、消費税引上げ後の受注台数が懸念される。
		旅行代理店（経営者）	・今年は直前になればなるほど、更に問合せや予約が止まらない気がするので、対応していきたい。
		旅行代理店（営業担当）	・客との話では、暖冬で旅行への抵抗感が少なく、国家的な大イベントも控えており、お出掛けムードが感じられる。
		美顔美容室（経営者）	・4月からは更にキャンペーンが始まり、新規客が見込まれる。
		住宅販売会社（従業員）	・注文住宅の請負契約での消費税引上げ前の最終月となり、2月の来場者数増の流れで大きく数字が伸びることを期待できる。
		商店街（代表者）	・春になり人出が多くなって売上は上昇する見込みであるが、原材料の値上がりとともに、依然として余り良い方向に向いていない。
	商店街（代表者）	・個人消費の伸び悩みが顕著に表れているので、なかなか売上増加に結び付かない。	
	商店街（代表者）	・今年に入ってから商品の動きが非常に悪い。消費税引上げ前の駆け込み需要に期待はしているが、客からは、増税前に買換えや新規購入をしたいという声はなかなか聞こえてこない。したがって、今後とも厳しい状態が続くように感じている。	

商店街（代表者）	・消費税引上げ前の駆け込み需要もなさそうで、良くなる要素は皆無である。
商店街（代表者）	・外国人旅行者は一過性なので、本来の会社関係や個人のなじみ客が安定的に増えるのが望ましい。
一般小売店〔結納品〕（経営者）	・良くも悪くもなるような要因が見当たらないので、このままで推移する。
一般小売店〔生花〕（経営者）	・物価もじわじわ上がっており、10月には消費税率も10%になることもあり、財布のひもは段々固くなるように思う。
一般小売店〔土産〕（経営者）	・ポジティブ、ネガティブ両方の要因が多すぎるため、判断ができない。
一般小売店〔薬局〕（経営者）	・景気、売上の落ち込みで個人店が廃業するなど商店街がなくなっていく。飲食店はこだわりをもち特徴のある店は活況だが全般的には低調である。店が入居するテナントビルは駅前の再開発で閉店する。4年後のオープンにはどうなるのか。調剤部門ではアレルギー性鼻炎の流行で忙しくなると思うが販売部門はどうだろうか。閉店セールで忙しくなればいい。
一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・3か月先も現状から変わらない。4月からいろいろな物の値上げが発表されているので、消費者は手控えたり金を使う場合も渋っている。売上は上向かず、現状維持が続く。
一般小売店〔果物〕（店員）	・3か月では変わらない。
一般小売店〔和菓子〕（企画担当）	・国内の景気はそこそこ戻っているが、海外要因が不透明で、先行きが分からない。
一般小売店〔書店〕（営業担当）	・新年度初めまでは、継続的に受注量の増加が続くと見込まれる。
百貨店（売場主任）	・3月末には冬物が終わり春夏物の新作が入り、下見や取り置きを希望する客がいるが、電話をしてもなかなか引取りに来ない。購買意欲のある客はその場ですぐ買うが、迷っている客は取り置きだけで終わってしまう。紳士靴の売上は厳しい。
百貨店（販売担当）	・パレンティン商戦は前年より良かったが、パレンティン後の売行きは前年より悪い。イベント関連以外はなかなか難しい。
百貨店（販売担当）	・今後もギフト需要の高まりに期待ができる。インバウンドは波があり、予測は難しい。
百貨店（計画担当）	・心配した外国人旅行者の需要は、今のところ法律改正の影響が軽微であるため順調に推移している。
スーパー（店長）	・特に上がる要因も下がる要因もないと思われる。人手不足はまだまだ続いていくので、人員確保が最大のテーマになる。
スーパー（販売担当）	・特売商品を大量陳列することで売上が上がっている。その効果は2～3か月は続くと思う。
スーパー（商品開発担当）	・来客数は前年同期103%と、ここ3か月の中で最も良い数値であった。来客数がやや回復してきたため、売上も緩やかではあるが回復傾向にあるように感じる。
コンビニ（企画担当）	・客単価が上昇しないと、又は引き上げられないと生産性が上がらず、結果的に収入が下がり苦しい状況が続く。
コンビニ（企画担当）	・鉄道利用者が比較的好調なため、駅ナカの店舗は好調を維持すると思われる。
コンビニ（エリア担当）	・コンビニの重点管理商品群である米飯商品やファーストフードの改善が、前年比では微増であることから全体への影響度は少なく、景氣的には変わらないと思われる。
コンビニ（エリア担当）	・ドラッグストアやスーパーとの競合が不安要因である。
コンビニ（店長）	・当店の売上については前年比でマイナスが続いているが、特に変わる状況はない。
コンビニ（商品開発担当）	・原材料の価格高騰から商品の価格見直しが行われている。10月の消費税引上げを控え、買い控えの動きも予想される。
衣料品専門店（経営者）	・季節がずれ込んでも購入してくれる客は激減しているので、先行きが暗い。
衣料品専門店（売場担当）	・景気が良くなる見込みがなく、一方、悪くなる見込みもない。

衣料品専門店（販売企画担当）	・良くなるほどではないが、例年並みに動きそうである。
乗用車販売店（営業担当）	・消費税引上げ前の駆け込み需要があるかもしれないが、客の反応は余り良くない。
乗用車販売店（経営者）	・雇用情勢は改善しつつあるが、個人消費の盛り上がりまでには至らない。
乗用車販売店（従業員）	・全体的な流れは良い。大きな流れは変わらないが分からない。
乗用車販売店（従業員）	・今後、年度末決算期を迎え、さらに今春の新型車発表も控えており、市場が盛り上がることを期待したいが、まだまだ市場環境の厳しさは続くと思われる。
住関連専門店（営業担当）	・新築マンション、戸建て住宅共に、消費税の引上げ、世界経済や我が国の将来への不安、足元の収入状況から様子見が多い。小規模改修や公共工事等については横ばいであるが、全体的には動きは余り良くない。
高級レストラン（経営企画）	・期末から期初に向かい、改元関連やゴールデンウィークの10連休への期待も高いが、少し休みが長すぎる分中だるみが心配される。また、国内外の旅行の予約が好調な分、外食や小売はイベントなどで集客を図っていく必要がある。
一般レストラン（経営者）	・消費税の引上げ前となる。物価や人件費は高くなっていく。
一般レストラン（経営者）	・秋には、消費税の引上げと日用品の値上げが少し響くかもしれない。
一般レストラン（スタッフ）	・当地区の企業の第3四半期決算をみると、予算未達成の企業が多く、先行きは不透明で厳しいと判断している。
その他飲食 [ 仕出し ]（経営者）	・改元により祝賀ムードは明らかに高まるため、若干上向きな心理状態にはなるが、消費税の引上げが足かせになるとと思われる。
観光型ホテル（経営者）	・宿泊数、昼食者数、夕食者数は、2～3か月前から前年比の数字が低下している。このような状況が続いており変わらない。
観光型ホテル（支配人）	・2～3か月後も例年恒例の案件は受注できているので、大きく落ち込むことはないと思われるが、ここ最近客室の伸びが鈍化してきている。インバウンドとWeb予約に頼っているため、じかに客を獲得できるよう商品開発が必要である。
都市型ホテル（従業員）	・予約数から横ばいと見込む。
都市型ホテル（総支配人）	・季節的な需要があると期待したい。
旅行代理店（経営者）	・個人客の需要は若干伸びているが、団体客の需要が低迷している。
旅行代理店（経営者）	・暖かくなると受注も増えると思われるが、確定ではないため横ばいと見込む。
旅行代理店（経営者）	・日本人においてもモノ消費ではなくコト消費が主流になるとと思われる。
旅行代理店（営業担当）	・ゴールデンウィークは、10連休を利用した旅行需要で前年以上に増えているが、それ以外の期間の需要が停滞している。4月の統一地方選挙期間中はもとも旅行需要が減少するが、5月以降の旅行申込みも出足は悪く、即効性のあるイベントなどによる旅行需要を期待するしかない状況である。
タクシー運転手	・繁華街は2～3年以上入出が少なく、まだ良くなる気配がない。今のままの状態、悪いなりに横ばいになる。
タクシー運転手	・10連休の話題で、旅行会社には予約が入り海外旅行は売上が好調と聞いているが、タクシー業界は、一般企業が休みになって夜の飲食店街は暇になるので売上が減少する。
通信会社（企画担当）	・異動の時期を迎え、契約件数こそ上向いてくるものと思われるが、客単価の下落傾向は続くものと思う。AI、IoT、5G、電気自動車など将来を感じさせるワードは多々みられるが、生活者がそこから明るい未来を感じられているのかは疑問である。
通信会社（営業担当）	・若い層の個人客が安い商品に流れていくことと年配層の個人客は廃止方向にあるため、全体に減少傾向は続くと思う。
通信会社（営業担当）	・当面は、変わらないと思われる。

テーマパーク職員（総務担当）	・引き続き足元と同じような状況が続くかどうか分からない。
ゴルフ場（支配人）	・この冬は雪も少なく平地でのクローズはほとんどなく順調である。2か月先の予約数もほぼ平年並みであり、これから暖かいシーズンに向かうので、大きく変動することなく推移すると思われる。
その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	・海外の経済情勢が影響する。
美容室（経営者）	・ゴールデンウィークまで出費を控える客が多い。
その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・消費税の引上げまでは住宅改修の駆け込み需要もあるかもしれないが、大きな影響はないと見込まれる。
住宅販売会社（従業員）	・消費税の引上げに向けて、見通しづらいが横ばい状況が続くと思われる。
その他住宅〔室内装飾業〕（従業員）	・年度末に向けて住宅リフォームや工場設備投資などの工事を受注している。
その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	・2か月後は賃貸業界の繁忙期が終わる時期に重なるため、システム変更したことによりどのように維持又は上向きにするか、方法を模索していかなければならない。
スーパー（経営者）	・賃金が思うようには伸びず今年は消費購買の勢いが弱いため、消費税は引上げになるが過去のように消費が上らない。ゴールデンウィークは休日が長く、レジャー関連は別として一般的には稼働率が低くなるため勤労意欲も下がり、景気にはマイナスになる。5月の景気は予想以上に厳しく、横ばいから少々下がってくる。
スーパー（店員）	・卸製麺所から4月以降の値上げの告知が届いた。小麦粉や油などいろいろな物が値上がりするが、その影響が懸念される。
スーパー（経営企画担当）	・来月中旬、近くにドラッグストアがオープンするため、一般ドライ商品や生活雑貨の販売量の低下が予想される。
スーパー（販売担当）	・来客数が伸びないため今後もどうなるか分からない。
スーパー（ブロック長）	・この先、数多くの食料品の値上げが予定され、余分な買物は今以上に避けると思われる。
スーパー（商品管理担当）	・賃上げがしっかり行われなければ、買い控えが長引く。
スーパー（営業企画）	・消費税の引上げがいよいよ迫ってくるなかで、消費の引締め意識が高まりそうである。
コンビニ（店長）	・消費税の引上げに伴う軽減税率の導入があり、税務申請や日頃の処理が煩雑になる。混乱により商いが停滞する気がする。
コンビニ（店長）	・ドラッグストアでの販売商品との価格差が大きく、今後も売上が減少していく。
コンビニ（店員）	・ゴールデンウィークに入ると来客数が減る。
家電量販店（店員）	・消費税の引上げや東京オリンピックなど、国内を考えると良い方向に向けばと思うが、英国のEU離脱問題や米中貿易摩擦など世界情勢は良い方向に向いているとは思えない。2020年はパブル崩壊後30年になるので、時代は繰り返されるような気がする。
家電量販店（フランチャイズ経営者）	・3～4月は決算期や新生活を訴求することになるが、2月の来客数をみれば限り余り期待できない。ゴールデンウィークの10連休がメディアで取り上げられ、コト消費の傾向が強まりそうである。
乗用車販売店（経営者）	・4月に統一地方選挙を控え、慌ただしい状況が景気にはマイナス要素となる。
乗用車販売店（経営者）	・毎年、年度初めは来客数が少ないが、今年も来客数が多くなりそうな見込みがない。
乗用車販売店（従業員）	・2月のイベントで自社客の掘り起こしが済み済みで、3月以降は納期の掛かる車も多く、かなり厳しくなると思われる。
乗用車販売店（営業担当）	・今月の受注残から3月の目標に対して8割方は読んでいる。近年は決算期といわれる3月上旬で客足は止まり、止まる時期も年々早まる傾向があり、余裕はない。

	その他専門店〔雑貨〕 (店員)	・米中貿易摩擦と中国経済の減速の影響が未知数である。
	その他専門店〔書籍〕 (店員)	・改元で大型連休のところも多いので、金がレジャー代に流れると見込まれる。厳しい状態になるのではないかと懸念している。
	その他小売〔ショッピングセンター〕(経理担当)	・売上高は前年比で3.7%のマイナス、来客数は前年比2.9%のマイナスである。
	一般レストラン(経営者)	・いろいろ物入りな季節になり、外食等は少なくなる。
	一般レストラン(経営者)	・飲食業では中央市場や業務用スーパー等の来客数が減少している。飲食に金を使わない状況に不安を感じる。これから良くなる要素は考えられない。
	その他飲食〔ワイン輸入〕(経営企画担当)	・客の商品の選別がより厳しくなっている。少しでも飽きた商品は買い控えられる。
	テーマパーク(職員)	・前年比ですっと悪くなっている。
	テーマパーク(職員)	・暖冬の影響で雪が少なく、雪遊びができなくなる。
	パチンコ店(経営者)	・行政当局の規制強化により業界全体の売上等が減少する。
	設計事務所(経営者)	・案件数が減少している上に受注単価が低すぎる。
	設計事務所(職員)	・このところ現内閣に関しては、景気の良くなる話は全くない。我が国の景気が良くなるような印象は受けない。
	その他住宅〔住宅管理〕(経営者)	・同業者と話をしてもらっても利益率の悪い仕事だけが増えており、先の見通しが立たない。
×	一般小売店〔酒類〕(経営者)	・飲食店への来客数の減少は、10連休を前に日常の消費を極力控える動きと考える。
×	百貨店(経理担当)	・企業業績と雇用や所得環境の悪化から、個人客、法人客共に需要は更に落ち込む。また、これまで下支えしていた訪日外国人旅行者も世界経済の後退によって減少に転じると考える。
×	乗用車販売店(経営者)	・4月以降は一気に下降傾向に振れるものと予想される。
×	乗用車販売店(従業員)	・自動車業界は4月よりエコカー減税が大幅に縮減され、一気に売行きが落ち込む。
×	スナック(経営者)	・先の見通しが全く読めない時代に入り、なかなか厳しい。
×	タクシー運転手	・韓国への大臣の対応が心理的に影響する。
×	理美容室(経営者)	・様々なところで来月から値上げが始まり、徐々に景気が悪くなっていく。
×	美容室(経営者)	・当市は全国の市町村でも下から14番目に人口が減少しているといわれ、人口が減少すると景気は良くならない。
×	理容室(経営者)	・景気の良い話はまるで出ない。余分な金は使わない。
×	住宅販売会社(経営者)	・5月の連休でレジャーに気が回り、住宅にまで気が向かないのではないかと心配である。
×	住宅販売会社(従業員)	・住宅分譲地としての業者の購入が鈍化してきているようで、仕入額もかなり低くなっている。そのため、大規模な土地の所有者も売却をちゅうちょするようになってきた。
企業 動向 関連 (東海)	*	*
	食料品製造業(営業担当)	・暖かくなってきてからも天候には大きく左右されるが、冬場よりは受注量、販売量共に伸びる時期となる。
	化学工業(営業担当)	・プラスチック原料価格が下がる見込みである。
	その他サービス業〔ソフト開発〕(社員)	・どこまで自社対応できるか次第ではあるが、他案件との調整で、受託案件の拡大の見通しが立てられる。
	食料品製造業(経営企画担当)	・3月からの価格改定、秋口の消費税の引上げなど消費者にとっては購買意欲の低下につながる要素ばかりであり、先行きが非常に不安である。
	パルプ・紙・紙加工品製造業(顧問)	・取引先からは良い情報が入らず、景気は現状のまま推移する。
	化学工業(人事担当)	・米中貿易摩擦の行方次第である。改善されれば景気は良くなると思われる。
	化学工業(総務秘書)	・特に景気が悪くなるトピックがない。中期的にリニア中央新幹線、東京オリンピックや大阪万博など、巨大イベントが適度に予定されていることは良いことである。ただし、景気の良い会社や人と、取り残されている会社や人との差ははっきりしてきている。

金属製品製造業（従業員）	・しばらく忙しい状況に変わりはない。
一般機械器具製造業（営業担当）	・北米だけではなく国内やアジアでもプロジェクト凍結や延期が続いており、受注が増える見込みがない。
一般機械器具製造業（経営管理担当）	・受注量、販売見込みが横ばいである。
電気機械器具製造業（営業担当）	・変わる要素が見当たらない。
電気機械器具製造業（経営者）	・今後の見通しは、受注予定表をみると3～4月までは現状の数量での推移となっている。
電気機械器具製造業（総務担当）	・通信関連では、当分設備投資は続くと思われる。
輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・客先の生産計画から、高止まりしたままでしばらく続くと思われる。
輸送用機械器具製造業（管理担当）	・年度末による生産増が見込まれるが、根本的に変わらないと思う。
建設業（役員）	・マンションは消費税引上げの経過措置が3月までなので、一旦は動きが落ち着く。今度は10月の引上げ前のタイミングに動きが活発化するのではと見込まれる。
輸送業（エリア担当）	・採用が思うようには進まない。賃金をアップさせているが、在籍社員もいるために、安易に上げられない。
輸送業（エリア担当）	・燃料の軽油価格は、前年と比較してほぼ同じ価格になってきているので変わらない。
輸送業（エリア担当）	・米中の貿易摩擦や英国のEU離脱問題など、国際貨物の流れに影響する案件が多いので先行き不透明である。
輸送業（エリア担当）	・総菜の価格上昇は、消費者の懐具合とは関係なくスーパーがコスト増加に耐えられない状況であり、物価は上昇している。景気に即反映されるか分からないが、1つの変化と感じる。
輸送業（役員）	・消費税引上げ前の対策と思われるような生産や荷動きの動向がうかがえる。今後、この動向が月を追って少しずつみられるような感じである。原油価格がじわじわと値上がり転じてきているのが懸念される。
通信業（総務担当）	・物流やそれを支えるIT設備の受注からは、それほど大きく活気付くとは思えない。現状維持が良いところという感じがする。やはり国内が明るくなるような話題が欲しい。5月の改元は大イベントになる予感はある。
通信業（法人営業担当）	・新しい年度になり人事異動がある。行政も当社も、上司が変われば投資案件の優先順位も変わる可能性が大いにあるが、投資の予算そのものを膨らませるのは、今の落ち着いた景気状況では難しいと思う。
金融業（従業員）	・東京オリンピックに向けて様々な企業が若干上向き傾向にあるなかで、それでも景気回復とまではいかず余り良くないという企業も多く、二極化している傾向にありどちらともいえない。
金融業（企画担当）	・個人投資家は、投資している資産の価値が上がってこないと動かない。個人投資家以外の個人も、収入が増えている実感がないと消費に向かわない。当面、現在の景気が続くと思われる。
不動産業（経営者）	・3～4月は例年と比較して晴天の日が少ないと予想されているが、当面の景気は今月同様に良い状態が継続し、売上は2月同様に前年同期100%以上で推移する。
不動産業（経営者）	・年度末のため動きが鈍い。
広告代理店（制作担当）	・一部の企業から以外は特に新規の受注もなく、現状維持と思われる。
行政書士	・現状維持であるが、引っ越し業者だけが活発である。
公認会計士	・中堅中小企業の事業承継や廃業問題は、短期的には解決しない。
会計事務所（職員）	・消費税の引上げが近づいてくる。一時は駆け込みの気配がみられたものの、最近は落ち着いている。夏頃から駆け込みが始まりそうである。

	会計事務所（職員）	・ガソリンの値段が短期間で上下しても、以前ほど話題に上らないようになった。使える金も極端に増えたり減ったりはせず、少ないながらも安定しているように思う。そのため、景気も変わらないように感じる。
	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・全体的に不透明感が更に強くなり、様子を見ながらかじ取りをしなければならない。当社では開発があと1歩のところまできている。
	窯業・土石製品製造業（社員）	・受注の勢いが少し衰え始めた。年度末までは、客先では在庫調整局面となりそうである。
	鉄鋼業（経営者）	・受注、見積りなどの目先の取引につながる話が少ない。当面の受注残も、通常の月と比べて5%ほど下回っている。
	金属製品製造業（経営者）	・引き合いも減少しており、価格競争になりそうである。
	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・米中貿易摩擦がまだ続くと思われる。世界景気が少し悪くなっていくため、自動車の売上も減少する。
	輸送業（経営者）	・現業を中心に人手不足は悪化し、既存の客の仕事も断らざるを得なくなりそうである。
	新聞販売店〔広告〕（店主）	・節約のため新聞購読をやめるというケースが増えている。客の消費意欲は低いと感じる。
	x	*
雇用 関連  (東海)	人材派遣業（営業担当）	・消費税の引上げを意識する雰囲気が強くなり、消費拡大、生産増加により景気が特に上向きになると見込む。
	人材派遣会社（社員）	・歓送迎会等の利用でやや良くなる。予約状況も例年並みである。
	人材派遣会社（営業担当）	・例年、年度末から年度初めに向けて求職者の動きが多くなっていく。それに伴って、離職者のポジションに派遣人材の活用や中途社員を採用する動きも大きくなると考える。
	学校〔専門学校〕（就職担当）	・1月に入って採用を辞退した学生が発生したが、同時に進学予定だった学生が進路変更して就職希望となり、同法人に紹介したところ追加的に試験を実施して採用されたことから、企業は採用に積極的と感じられる。
	人材派遣会社（経営企画）	・特に新たな変化の兆しがない。
	人材派遣会社（企画統括）	・働き方改革による非正規労働者の処遇見直しの人材会社への影響が不透明である。
	人材派遣会社（営業担当）	・高スキル業務は特に給与が上昇傾向にあるが、一層の人材不足により、事務系の業務でも4月から給与改定に依る企業が多くなり、賃金の上昇傾向が加速している。
	アウトソーシング企業（エリア担当）	・自動車の国内製造において、新年度の推移はまだ不透明なところがある。今後の国内外の販売動向に左右される。
	職業安定所（職員）	・求職者も減少しており、人手不足が厳しくリストラの動きはない。
	職業安定所（次長）	・人手不足により労働力が確保できないため、中小零細企業においては、受注制限や生産調整等を余儀なくされることが懸念される。
	職業安定所（次長）	・新規求人数は横ばい状態であり大きな変化はない。ただし、世界経済の減速に対する懸念の影響で企業の生産意欲の低下につながるのではないか、今後には注視が必要である。
	民間職業紹介機関（営業担当）	・4月に向けて有職者の転職意欲が徐々に低下してくる時期となる。
	民間職業紹介機関（窓口担当）	・現在は活発な人の動きも、ゴールデンウィーク明けから夏に掛けては落ち着く時期となる。ただし、業績がアップしている企業からは、新卒採用者に期待している戦力以上の業務があれば、人選依頼も期待できる。
	人材派遣会社（営業担当）	・自動車関連の客の中で、中国市場の減速や全世界での自動車生産台数の減少による影響で、業績見通しの悪化や予算削減という企業が出てきている。
	人材派遣会社（営業担当）	・正社員の求人数が、徐々にではあるが少なくなってきた。
求人情報製作会社（営業）	・外部要因による政治や経済への不安が長引くと、国内の求人市場の減速を懸念する。	
新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・足元の傾向がそれほど変わらぬと思えない。	

	民間職業紹介機関（支社長）	・各社の来期決算見込みが、特にメーカーなどはやや不安である。良くない場合は採用自体を絞る可能性もある。
×	新聞社 [ 求人広告 ]（営業担当）	・新聞の読者層が高齢者ばかりになり、企業が欲しい人材の年齢層ではなくなっている。